


Ver 1.0

オフセット・クレジット（J-VER）制度に基づく
温室効果ガス吸収プロジェクト申請書

プロジェクト名	鳥取県県有林J-VERプロジェクト
プロジェクト 代表事業者名	鳥取県知事 平井 伸治



提出日2009年10月2日

受理日 年 月 日


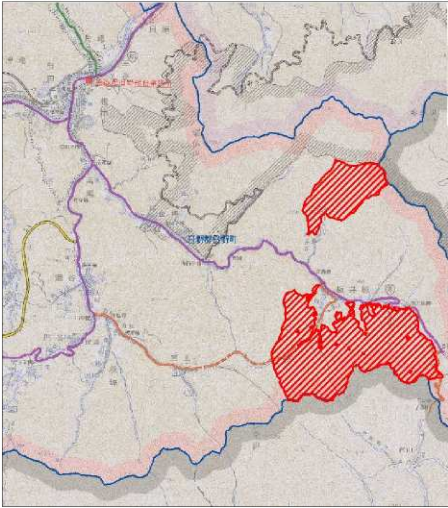
最終版提出日 年 月 日

A:参加者情報			
プロジェクト代表事業者 ※1			
事業者名(フリガナ)	鳥取県 (トットリケン)		
住所	〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220		
代表者氏名	鳥取県知事 平井伸治	担当者氏名	西村 昌教
担当者所属	農林水産部 森林・林業総室	担当者役職	農林技師
担当者 E-mail	masanori.nishimura@pref.tottori.jp	担当者電話番号	0857-26-7304
プロジェクト事業者 ※2			
事業者名(フリガナ)	鳥取県 (トットリケン)		
住所	〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220		
代表者氏名	鳥取県知事 平井伸治	担当者氏名	西村 昌教
担当者所属	農林水産部 森林・林業総室	担当者役職	農林技師
担当者 E-mail	masanori.nishimura@pref.tottori.jp	担当者電話番号	0857-26-7304
その他プロジェクト参加者 ※3,4			
事業者名(フリガナ)	なし		
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
プロジェクトでの役割			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 ※5			
事業者名(フリガナ)	鳥取県 (トットリケン)		
オフセット・クレジット(J-VER)口座番号 ※6			

- ※1:プロジェクト代表事業者のパンフレット等、事業内容の説明資料を別途添付すること。代表者以外の主なプロジェクト参加者についてもパンフレット等を添付すること。
- ※2:プロジェクト事業者とは、当該プロジェクトの実施に携わる者のうち、実際に温室効果ガス排出削減・吸収活動を実施する者を指す。代表者と同一の場合は、その旨を記載すること。
- ※3:その他プロジェクト参加者とは、プロジェクト代表事業者・プロジェクト事業者以外に当該プロジェクトの実施に携わるすべての者を指す。たとえば、下記が参加者として想定される。
 - ・ 温室効果ガス排出削減・吸収活動のとりまとめを行う者
- ※4:プロジェクト参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。
- ※5:オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者は、プロジェクト参加者(代表者、プロジェクト事業者、その他)のうちいずれかであること。
- ※6:オフセット・クレジット(J-VER)口座番号は、口座未取得の場合は記入不要。

B:プロジェクト活動の概要①											
B.1 プロジェクト活動	項目										
B.1.1 プロジェクトの目的及び内容	<p>鳥取県板井原県有林を持続的に管理するため、間伐が必要な人工林を適期に間伐し、健全な林況を維持するとともに、光合成による二酸化炭素の吸収を促進する。間伐した森林の二酸化炭素吸収量について、オフセット・クレジット(J-VER)を取得、販売し、その追加的資金を活用し、今後の間伐、間伐材の搬出、作業道の整備などを更に進め、持続可能な森林経営を継続する。</p>										
B.1.2 プロジェクト実施前の状況	<p>板井原県有林は、戦後造林した人工林が全体の85%を占め、間伐を必要とする3齢級から12齢級までの人工林が大部分である。造林主要樹種であるスギ、ヒノキの単層林がそれぞれ全体の4割以上を占める。</p> <p>板井原県有林全域は、水源かん養機能、山地災害防止機能の維持増進を図る必要がある水土保持林に含まれ、機能発揮のため適正な間伐による管理が必要とされている。</p> <p>板井原県有林の樹種構成</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">樹種</th> <th style="width: 15%;">スギ</th> <th style="width: 15%;">ヒノキ</th> <th style="width: 15%;">広葉樹等</th> <th style="width: 10%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面積(ha)</td> <td>236</td> <td>215</td> <td>78</td> <td>529</td> </tr> </tbody> </table> <p>板井原県有林の資源構成</p>	樹種	スギ	ヒノキ	広葉樹等	合計	面積(ha)	236	215	78	529
樹種	スギ	ヒノキ	広葉樹等	合計							
面積(ha)	236	215	78	529							

	<div data-bbox="400 248 1201 680" data-label="Figure"> <p style="text-align: center;">板井原県有林資源構成表</p> <table border="1"> <caption>板井原県有林資源構成表 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年齢級</th> <th>スギ (ha)</th> <th>ヒノキ (ha)</th> <th>広葉樹(天然林) (ha)</th> <th>広葉樹(人工林) (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>5</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>6</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>7</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>8</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>9</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>10</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>11</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>12</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>13</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>14</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>15</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> </div>		年齢級	スギ (ha)	ヒノキ (ha)	広葉樹(天然林) (ha)	広葉樹(人工林) (ha)	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	4	0	0	0	0	5	0	0	0	0	6	0	0	0	0	7	0	0	0	0	8	0	0	0	0	9	0	0	0	0	10	0	0	0	0	11	0	0	0	0	12	0	0	0	0	13	0	0	0	0	14	0	0	0	0	15	0	0	0	0
年齢級	スギ (ha)	ヒノキ (ha)	広葉樹(天然林) (ha)	広葉樹(人工林) (ha)																																																																														
1	0	0	0	0																																																																														
2	0	0	0	0																																																																														
3	0	0	0	0																																																																														
4	0	0	0	0																																																																														
5	0	0	0	0																																																																														
6	0	0	0	0																																																																														
7	0	0	0	0																																																																														
8	0	0	0	0																																																																														
9	0	0	0	0																																																																														
10	0	0	0	0																																																																														
11	0	0	0	0																																																																														
12	0	0	0	0																																																																														
13	0	0	0	0																																																																														
14	0	0	0	0																																																																														
15	0	0	0	0																																																																														
	<p>B.1.3 排出削減・吸収の達成手段</p> <p>板井原県有林は、森林施業計画の「森林施業の実施に関する長期の方針」に基づき、長伐期施業として、主伐を標準伐期齢の2倍の林齢以上の時期に実施する。主伐までは林木の旺盛な成長や下層植生の発達を確保するため、間伐は、間伐率20%～30%の定性間伐を基本とする。</p>																																																																																	
<p>B.2 採用技術</p>	<p>プロジェクトで使用する設備・機器等</p> <p>間伐面積の測定：コンパス測量（較差5/100）</p> <p>樹高の測定：Haglof社製バーテックスレーザーVL400 （計測高さ範囲：0～999m、平成18年度導入、法定耐用年数5年）</p>																																																																																	
<p>B.3 プロジェクト 実施場所</p>	<p>実施事業所名</p>	<p>①鳥取県農林水産部森林・林業総室 ②鳥取県日野総合事務所</p>																																																																																
	<p>住所</p>	<p>① 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地 ② 鳥取県日野郡日野町根雨</p> <p>間伐実施場所 鳥取県日野郡日野町板井原（板井原県有林）</p>																																																																																

	概要	<p>プロジェクト対象地となる板井原県有林は、鳥取県南西部の岡山県境付近に位置する。</p>  <p>板井原県有林の位置図</p> <p>板井原県有林は、主要道路を挟んで二つの団地に分かれており、両方の団地が岡山県境に接している。</p>  <p>板井原県有林の範囲</p>
--	----	---

B:プロジェクト活動の概要②							
B.4 プロジェクト期間	2007年4月1日～2013年3月31日(6年)						
B.5 クレジット期間 ※1	2009年4月1日～2013年3月31日						
B.6 想定排出削減・吸収量 ※2	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	0	407	535	725	812	2,479
B.7 モニタリング報告の頻度	年1回を予定						
B.8 補助金	受給の有無 (いずれかに○)	受給している / 申請中 / 検討中 / 受給しない					
	補助事業名称	森林環境保全整備事業					
	補助金額 (申請額含む)	3,756,165 円 (2007年度、2008年度間伐実施分)					
	補助対象年月日	2008年4月1日～2010年3月31日					
	補助金を受給していることを証明する書類	平成19年度(2007年度)県営林保育事業箇所表<補助事業>					
B.9 他制度への申請 ※3	申請の有無 (いずれかに○)	有 / 無					
	制度名 (有の場合のみ)						
備考	(プロジェクトの排出削減・吸収量やプロジェクトの実施に影響を与えうる現在もしくは将来的なリスク要因(例えば森林火災、気象災害、病虫害やこれらに伴う排出量がプロジェクトの吸収量を上回るリスクなど)を特定し、影響の軽減措置を記述すること。)プロジェクトの吸収量やプロジェクトの実施に影響を与えうる現在もしくは将来的なリスクは特になし。						

※1:クレジット期間は、2008年4月1日～2013年3月31日の間で設定すること。

※2:想定排出削減・吸収量の算定根拠をモニタリングプランで提示すること。

※3:海外のVER制度や都道府県等のCO2吸収量認証等、類似制度への申請の有無を記入。これは、一つのプロジェクトによる排出削減・吸収量に基づくクレジットが複数創出される等の、ダブルカウントを避けるためである。

C:方法論の適用		
C.1 ポジティブリストの適格性基準との整合性	C.1.1 ポジティブリストの番号	No. R. <u>001</u>
	条件	説明 ※1
	C.1.2 条件1	プロジェクト対象地は、森林法第5条で規程される地域森林計画対象森林に含まれる。 資料2 森林施業計画書の伐採・造林・保育計画表で、各森林が地域森林計画の林班に所在することが示されている。
	C.1.3 条件2	①プロジェクト対象地は、資料2 森林施業計画書、資料3-1 間伐区域（森林計画図）、資料3-2 空中写真で対象地の位置、間伐計画を確認し、森林施業計画内に収まっていることを確認した。 2012年度、2013年度の間伐計画については、次期森林施業計画認定後に森林施業計画書を提出する。 ②プロジェクト対象地は、資料2 森林施業計画書の長期の方針に基づいて森林として管理するものであり、土地転用が計画されておらず、間伐対象林以外を主伐する場合も主伐後適切に更新することとしている。 モニタリング・検証にあたって、伐採届を提出する。 ③プロジェクト対象地の間伐は、間伐率20%～30%の定性間伐を基本とする。 ④2008年度以前の間伐については、資料1-P 伐採届と照合して、確認した。
	C.1.4 条件3	資料2 森林施業計画書は、日野町森林整備計画に適合するものとして認定されている。森林施業計画の長期の方針に基づいて、適切な間伐、主伐後の再造林を行い、持続的な森林経営を実施する。
C.2 適用方法論	方法論番号	JRAM <u>001</u>
	方法論名称	JRAM001－森林経営活動によるCO2吸収量の増大（間伐促進型プロジェクト）

<p>C.3 適用するガイドライン等</p>	<p>C.3.1 ガイドライン等への準拠</p>	<p>(オフセット・クレジット(J-VÉR)制度モニタリング方法ガイドラインに準拠しない場合の説明)</p> <table border="1" data-bbox="550 371 1394 571"> <thead> <tr> <th data-bbox="550 371 791 421">準拠の説明</th> <th data-bbox="791 371 1394 421">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="550 421 791 470"><input type="checkbox"/> 全く準拠しない</td> <td data-bbox="791 421 1394 470"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 470 791 519"><input type="checkbox"/> 一部準拠しない</td> <td data-bbox="791 470 1394 519"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 519 791 571"><input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する</td> <td data-bbox="791 519 1394 571"></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 全て準拠する場合は、説明は不要。</p>	準拠の説明	説明	<input type="checkbox"/> 全く準拠しない		<input type="checkbox"/> 一部準拠しない		<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する	
準拠の説明	説明									
<input type="checkbox"/> 全く準拠しない										
<input type="checkbox"/> 一部準拠しない										
<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する										

	<p>C.3.2 ガイドライン等が複数ある場合の選択</p>	<p>(オフセット・クレジット(J-VÉR)制度モニタリング方法ガイドラインのモニタリングパターンを選択する場合)</p> <table border="1" data-bbox="550 369 1401 1146"> <thead> <tr> <th data-bbox="550 369 703 465">モニタリングパラメータ</th> <th data-bbox="703 369 946 465">モニタリングパターン</th> <th data-bbox="946 369 1401 465">選択の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="550 465 703 660">活動量</td> <td data-bbox="703 465 946 660"> <input type="checkbox"/> 森林 GIS <input checked="" type="checkbox"/> 実測 </td> <td data-bbox="946 465 1401 660">間伐面積の測定は、間伐区域を特定しやすく、精度の高いコンパス測量を採用した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 660 703 855">拡大係数</td> <td data-bbox="703 660 946 855"> <input type="checkbox"/> 実測 <input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等 </td> <td data-bbox="946 660 1401 855">汎用性が高い「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書」を採用した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 855 703 1146">収穫予想表</td> <td data-bbox="703 855 946 1146"> <input type="checkbox"/> システム収穫表(LYCS等) <input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等) </td> <td data-bbox="946 855 1401 1146">収穫予想表は地域性が高いので、鳥取県が作成した収穫予想表を採用した。(スギは資料4-1のP199~204、ヒノキは資料4-2のP59~65)</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="550 1153 1401 1281">注) 選択理由の説明においては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。</p>	モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由	活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS <input checked="" type="checkbox"/> 実測	間伐面積の測定は、間伐区域を特定しやすく、精度の高いコンパス測量を採用した。	拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測 <input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	汎用性が高い「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書」を採用した。	収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表(LYCS等) <input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)	収穫予想表は地域性が高いので、鳥取県が作成した収穫予想表を採用した。(スギは資料4-1のP199~204、ヒノキは資料4-2のP59~65)
モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由												
活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS <input checked="" type="checkbox"/> 実測	間伐面積の測定は、間伐区域を特定しやすく、精度の高いコンパス測量を採用した。												
拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測 <input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	汎用性が高い「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書」を採用した。												
収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表(LYCS等) <input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)	収穫予想表は地域性が高いので、鳥取県が作成した収穫予想表を採用した。(スギは資料4-1のP199~204、ヒノキは資料4-2のP59~65)												
<p>C.4 プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)</p>	<p>C.4.1 ベースラインシナリオの特定</p>	<p>(プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)の説明)</p> <p>○間伐促進型：森林を適切な状態に保つために必要な間伐が2007年度以降に実施されていない状態。</p> <p>(ベースラインシナリオ特定に使用したデータの信頼性・入手可能性)</p> <table border="1" data-bbox="550 1680 1401 1877"> <thead> <tr> <th data-bbox="550 1680 746 1776">データの信頼性・入手可能性</th> <th data-bbox="746 1680 1401 1776">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="550 1776 746 1825"> <input type="checkbox"/> 低い </td> <td data-bbox="746 1776 1401 1825"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 1825 746 1877"> <input checked="" type="checkbox"/> 低くない </td> <td data-bbox="746 1825 1401 1877"></td> </tr> </tbody> </table>	データの信頼性・入手可能性	説明	<input type="checkbox"/> 低い		<input checked="" type="checkbox"/> 低くない							
データの信頼性・入手可能性	説明													
<input type="checkbox"/> 低い														
<input checked="" type="checkbox"/> 低くない														

	<p>(森林施業計画通りに施業を実施しない可能性に関する情報)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">施業計画通りに実施しない可能性</th> <th style="width: 60%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 可能性がある</td> <td>財政状況により間伐計画どおりの予算化が困難で、間伐計画年度等が変更する可能性がある。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 可能性がない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施業計画通りに実施しない可能性	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がある	財政状況により間伐計画どおりの予算化が困難で、間伐計画年度等が変更する可能性がある。	<input type="checkbox"/> 可能性がない							
	施業計画通りに実施しない可能性	説明											
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がある	財政状況により間伐計画どおりの予算化が困難で、間伐計画年度等が変更する可能性がある。												
<input type="checkbox"/> 可能性がない													
	<p>(プロジェクトの対象である森林が転用される可能性に関する情報)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">転用の可能性</th> <th style="width: 60%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 可能性がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	転用の可能性	説明	<input type="checkbox"/> 可能性がある		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない							
転用の可能性	説明												
<input type="checkbox"/> 可能性がある													
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない													
<p>C.4.2BLSに 関連した温室 効果ガス 排出源・吸収 源の特定</p>	<p>(温室効果ガス排出源・吸収源)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">温室効果ガス排出源・吸収源</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源</td> <td>地上部バイオマス、地下部バイオマス</td> </tr> <tr> <td>上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>リーケージに関しては、以下のリストから該当するものがあればボックスにチェックを入れること。また、チェックしたリーケージは、モニタリングプランにおいて定量化すること。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">リーケージの種類</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加</td> <td>該当なし</td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源	説明	森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス、地下部バイオマス	上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源		リーケージの種類	説明	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	該当なし	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	該当なし
温室効果ガス排出源・吸収源	説明												
森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス、地下部バイオマス												
上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源													
リーケージの種類	説明												
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	該当なし												
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	該当なし												

		<p>(温室効果ガス排出源・吸収源を特定するために使用した追加的な基準)</p> <table border="1"> <tr> <td>温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準</td> <td>説明</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>使用</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>使用しない</td> <td></td> </tr> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明	<input type="checkbox"/> 使用		<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明							
<input type="checkbox"/> 使用								
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								
C.5 排出量・ 吸収量の定 量化	C.5.1 不確か なデータの使 用	<p>(吸収量の定量化における不確かなデータの使用)</p> <table border="1"> <tr> <td>不確かなデータの使 用</td> <td>説明</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>使用する</td> <td>(不確かなデータを使用することによる吸収 量の過大評価がないことを説明すること。)</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>使用しない</td> <td></td> </tr> </table>	不確かなデータの使 用	説明	<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収 量の過大評価がないことを説明すること。)	<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
	不確かなデータの使 用	説明						
<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収 量の過大評価がないことを説明すること。)							
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								
	C.5.2 モニタリ ング対象とな らない排出 源・吸収源	<p>(モニタリングプランを作成する上で、モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源が存在する)</p> <table border="1"> <tr> <td>モニタリング報告対象となら ないプロジェクト固有の排出 源・吸収源</td> <td>説明</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>存在する</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>存在しない</td> <td></td> </tr> </table>	モニタリング報告対象となら ないプロジェクト固有の排出 源・吸収源	説明	<input type="checkbox"/> 存在する		<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない	
モニタリング報告対象となら ないプロジェクト固有の排出 源・吸収源	説明							
<input type="checkbox"/> 存在する								
<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない								
C.6 備考		特になし						

※1: ポジティブリストの条件を全て満たすことを、証拠書類等をもとに説明する。説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。

D:その他		
D.1 関連する許認可及び関連法令	(想定される関連法令等については、別紙「プロジェクト申請方法について」を参照のこと)	
	法令	関連
	森林・林業基本法	特になし
	森林法	あり
	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法（間伐等促進法）	特になし
	種の保存法	特になし
	鳥獣保護法	特になし
	騒音規制法	特になし
	景観法	特になし
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特になし
	環境影響評価法	特になし
D.2 ステークホルダー (森林所有者、森林管理者、森林管理費用負担者等)のコメント	なし	
D.3 その他特記事項	なし	